

7 ^{はたけ}ダイズはどんな畑でもつくれる

ダイズは根粒菌のおかげで、肥料分のすくないやせた土地でもつくれることができる。

ただ日かげだとヒョロヒョロのびて、モヤシっ子になってしまうよ。

みんなが食べる豆モヤシは、ダイズを暗いところで育ててつくるんだ。タネまきのころは、雨のおおい季節だ。タネや苗が水びたしになると、生長がわるくなる。

できるだけ雨水が流れやすいように、みぞを切っておこう！

も と ご え

元肥 (はじめにやる肥料)

まへの年に野菜などをつくっていて、土に肥料がのこっている畑ならいらない。やせた土地なら、チッソが3パーセント入っている化成肥料(チッソ：リン酸：カリ=3：10：10)を1平方メートルあたり、50～100グラムくらいいれてやる。化成肥料のかわりに、堆肥をやってもよい。

はたけ

畑づくりとタネまき

あまり早くたがやすと、土がかたくなってしまうので、タネをまく数日前にたがやす。

1. 20センチくらいの深さまでたがやす。
2. 石灰をまき、土とよくまぜながら、土をできるだけこまかくくたく。そうすると、芽がでる時期がそろう。
3. 60～70センチの間隔で、深さ20～25センチくらいのウネ(みぞ)を切る。
4. そこに肥料をまき、土をうめもどす。
5. うめもどしたところに、10～20センチくらいのあいだをあけて、1カ所にタネを3、4つずつまいていく。タネとタネのあいだは、1、2センチははなそう。
6. タネをまいたら、3～4センチのあつさに土をかける。
7. 土がとくにかわいているときだけ、ジョウロで水をやる。
8. 初生葉(つぎのページをみてね)がひらいたら、葉がおおきく、茎のふといものを1カ所に2本だけのこし、あとは地面すれすれのところでハサミで切る。

タネはちかくの花屋さんか、日曜大工店など、野菜のタネを売っているお店で買えるよ。



ダイズをつくったことのない畑なら、根粒菌をふやすために、つくったことのある畑の土をすこしまぜよう。ないときは、お百姓さんにたのんでみよう。

ひ
日あたりのよい畑をえらぶ

みず
水はけのよい場所をえらぶ



60~70センチ

まび 間引いたあとのかんかく
が10~20センチに
なるようにする。

のうきょう か さつきん
農協などで買ったタネには殺菌
がしてあるので、タネまきをし
たあと、かならず手をあらおう。

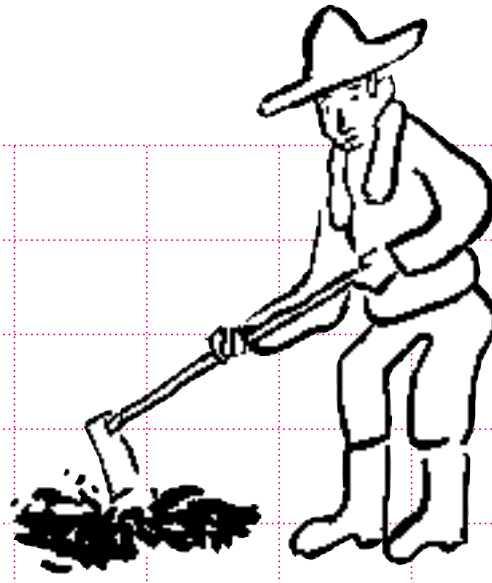
あめ
雨ふりのあとのタネまきは、さけたほうがいい
よ。しめっているときに土をいじると、ねんど
のようにかたくなって、芽がでられなくなる。

タネまきの時期

北海道、東北.....5~6月。

関東.....4~7月上旬。

中国、四国、九州.....4~7月



タネまきをして、3週間から1ヵ月くらいのときに、雑草とり

初生葉がひろくまで、あみでおっておく

じがまきしたときは、高さが10センチくらいになって葉がでたら、2本に間引く

タネまき

うえつけ

中耕・培土

1がつ

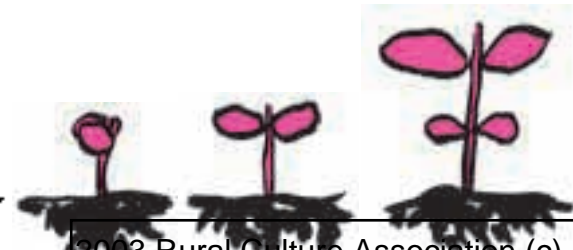
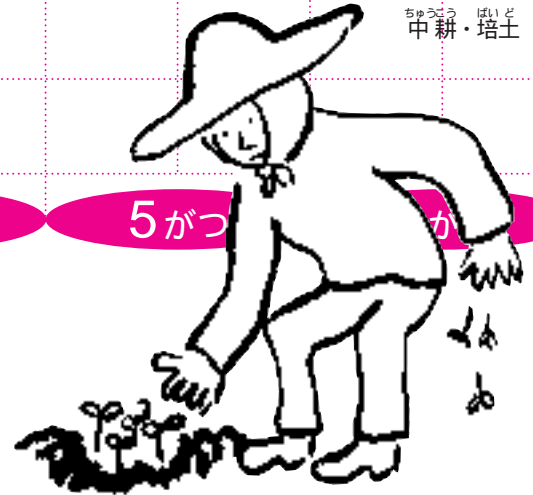
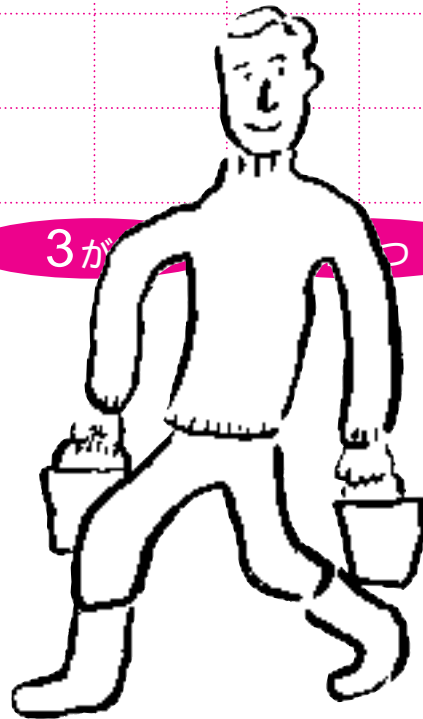
2がつ

3がつ

4がつ

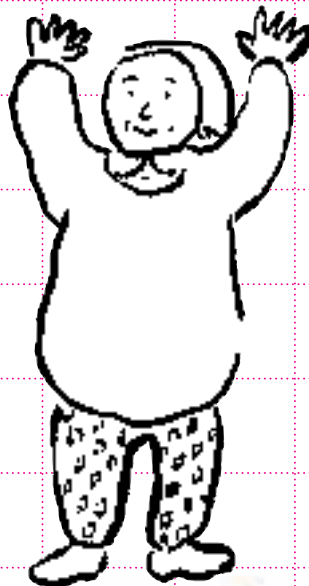
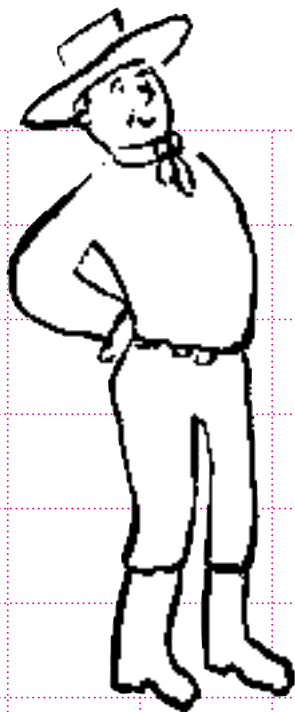
5がつ

6がつ





はな
花がさくまでに
2~3回^{かいち}土よせ
をする



.....

せいちょう!

しゅうかく!

ちゅうこう
中耕・培土

7がつ

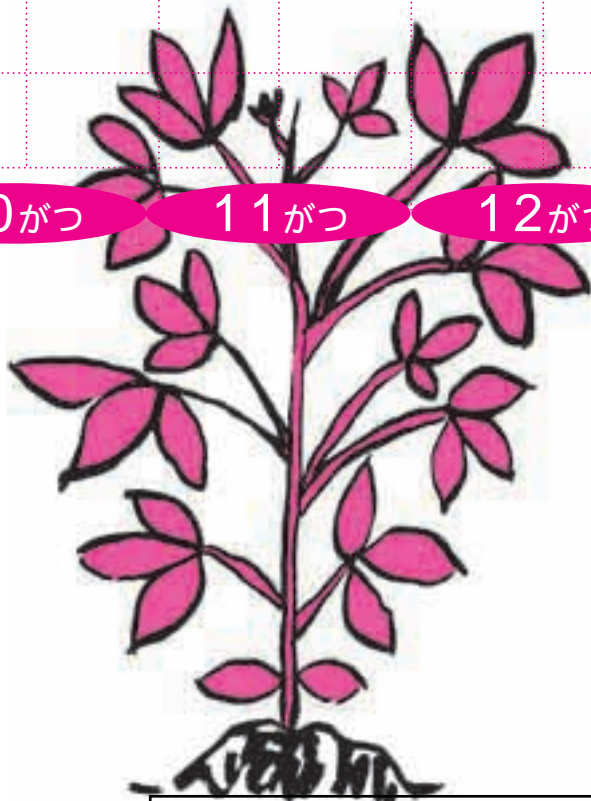
8がつ

9がつ

10がつ

11がつ

12がつ



8 ちゅうい 注意！ ^めダイズの芽は、^{だいこうぶつ}ハトの大好物！

「せっかく芽がでたのに、ハトに食べられちゃった！」よくあることなんだよ。なにしろハトは早起き。きみたちが寝ているあいだに食べてしまうんだ。でたばかりの芽(子葉)は、マメがそのまま顔をだしている。しかもちょうどいいくらい水をすってやわらかくなっているから、ハトの大好物だ。芽がでて1週間くらいは畑にあみをはるか、べつのところで苗をつくってうえつけよう。いつもはかわいいけれど、こんなときは、ハトもちょっとにくらしい。

なえ 苗づくり

ハトがおおいところでは、苗をべつのところでつくて、畑にうえつけよう。場所は畑のわきや、プランターなどでもよい。プランターでやるときも畑の土をいれたほうがいいけれど、育苗用の土でもいい。タネは、1カ所に1つずつ、3~4センチあいだをあけてまき、土をかるくかぶせる。2~4センチの目のあみで、畑やプランターをおおっておけば、ハトに芽を食べられないよ。芽がでてから初生葉がひらくまでの1週間くらいは注意しよう。

うえつけ

初生葉がひらくとハトは食べなくなるので、畑にうえつける。

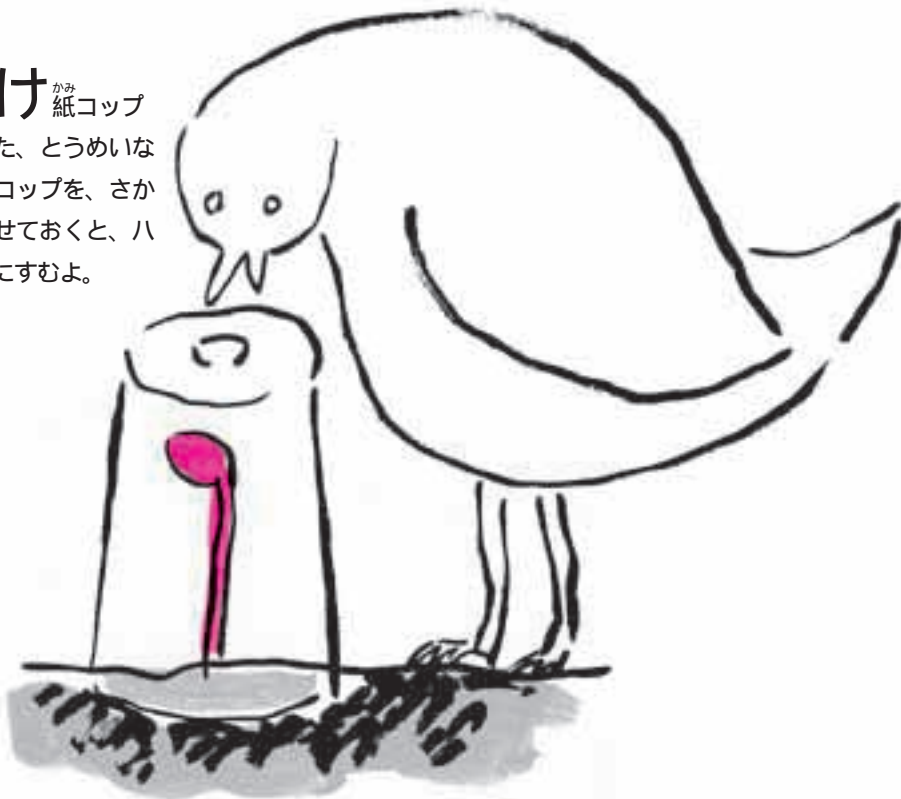
1. 朝や日中にうえつけると、しおれてしまうので、夕方うえつけて水をやる。
2. 肥料やウネ幅などは、畑にちよくせつまくばあいとおなじ。
3. 1カ所に1株ずつうえつけよう。



初生葉がひらくと、どうして、ハトが食べなくなるのかなあ？



ハトよけ^{かみ紙}コップ
 底にあなをあけた、とうめいな
 プラスチックのコップを、さか
 さにして、かぶせておくと、ハ
 トに食べられずにすむよ。



ちゅうこう ばいど
中耕、培土

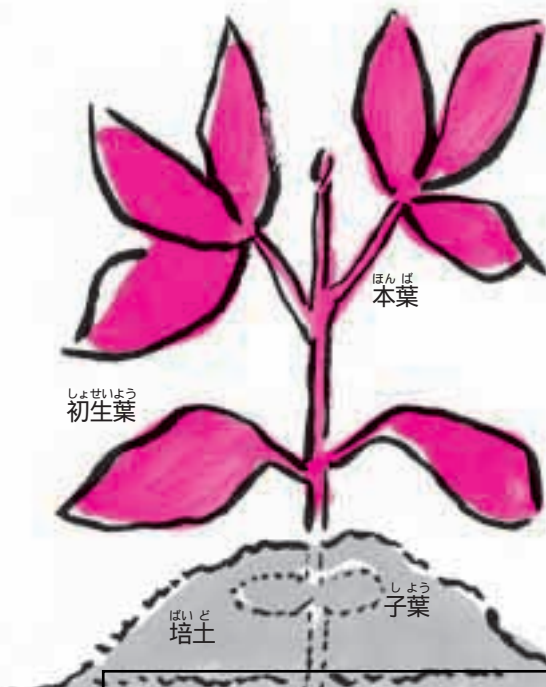
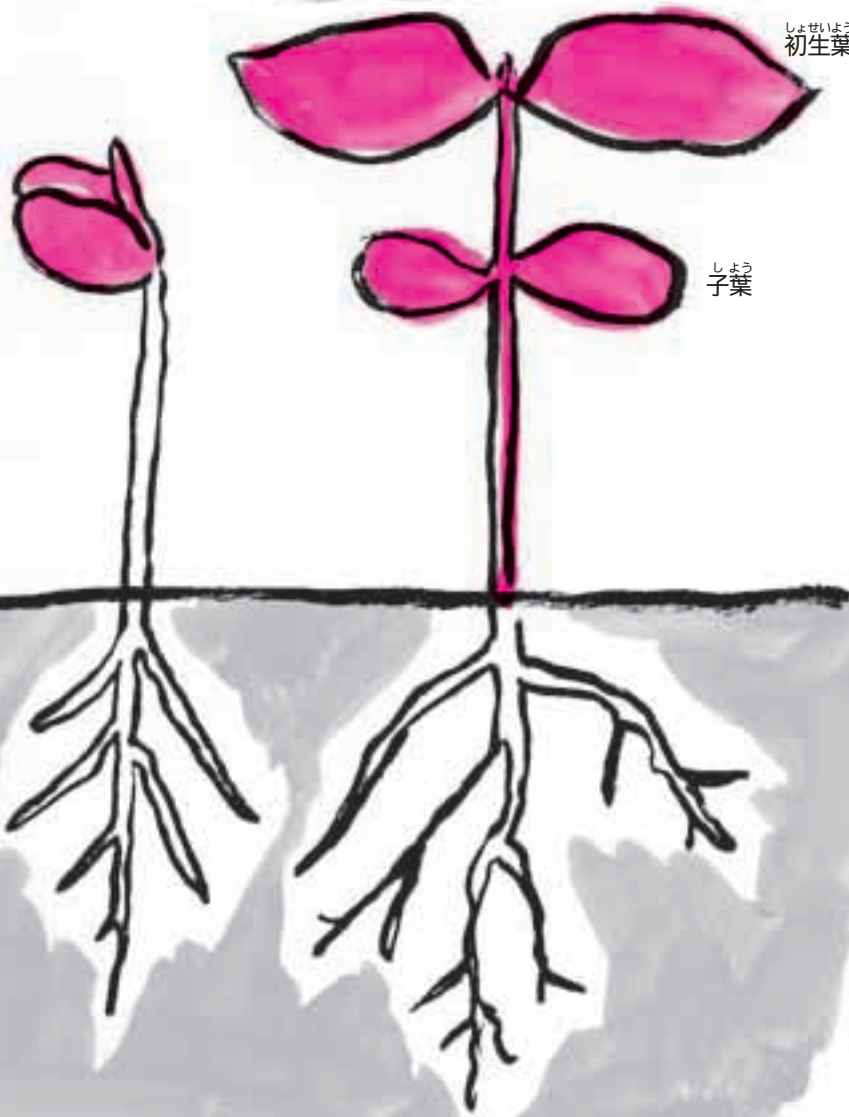
タネまきをしてから3週間から1
 ヶ月くらいすると、雑草がおお
 くなるので、ウネとウネのあいだを
 たがやして雑草をとりのぞき、土
 のなかに空気をいれてやろう(こ
 れを中耕っていうんだ)。そして、
 株もとに土をよせてやると(この
 作業を培土っていう)。根がたく
 さんで、たおれにくくなるんだ。
 花がさきはじめるまえの、本葉が
 6~7枚くらいになるころにいち
 ど、子葉がかくれるくらいまで土
 をよせ、背がおおきくなったらも
 ういちどウネのあいだをたがやし
 て、初生葉の節がかくれるくらい
 まで、株もとに土をよせてやる。
 草とりは、ダイズがおおきくなる
 までに、2~3回やる。

初生葉

みず
水やり

畑でも雨がすくないときは、水
 をやろう。

子葉

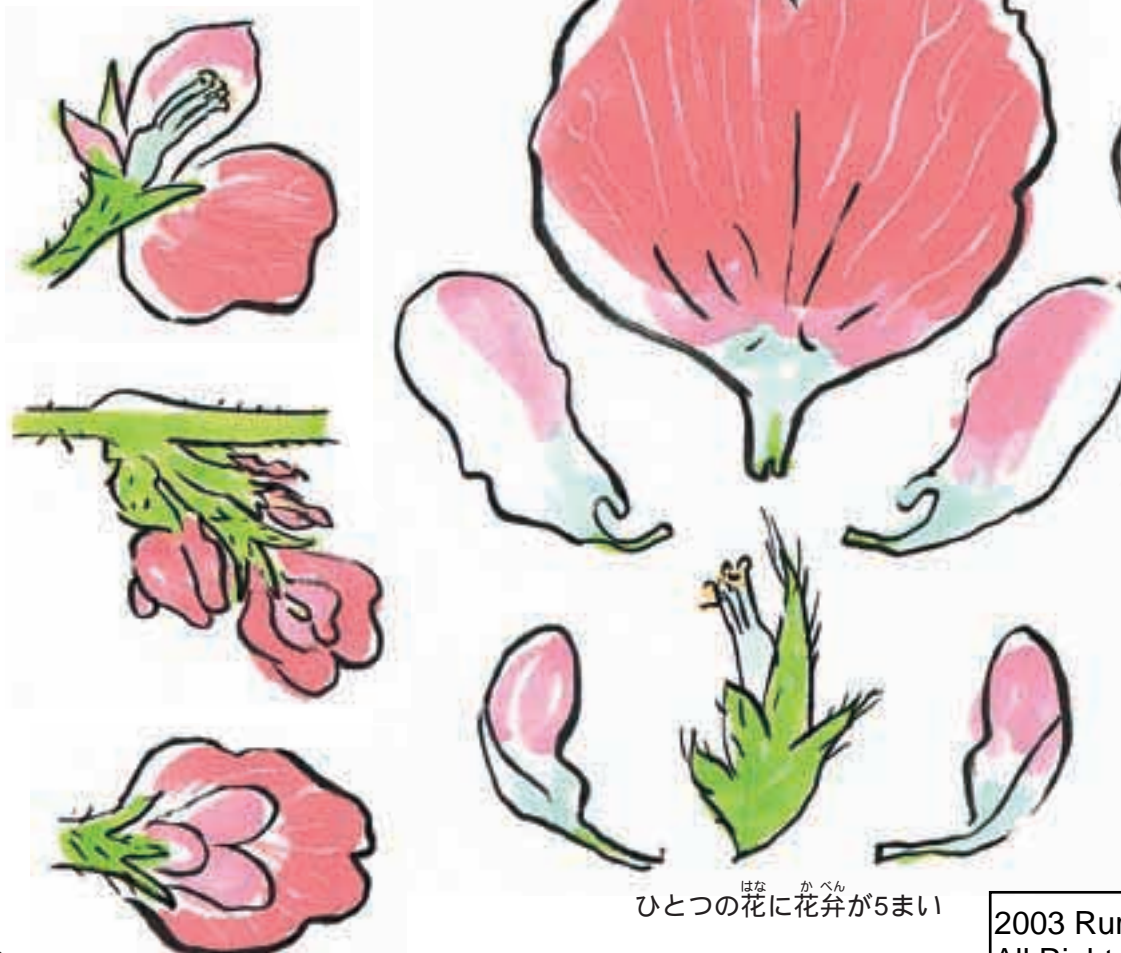


9とじたままで受精することもあるダイズのふしぎ

ダイズは、おなじ花のなかのおしべとめしべが受精し、花がひらいたときにはもう受粉しているんだよ。イネの花もダイズとおなじように、さいたときには受粉がおわっている。ところがイネはほとんどの実が熟すのに、ダイズは70～80パーセントの花が、みならずにおちてしまう。またダイズは、さむい時期や、温室で育てると、花はひらかずに、受粉してしまっていることもあるんだ。虫や風の力をかりないのに、どうして受粉するんだろうね？

花の中をのぞいてみると……
1本のめしべのまわりを、10本のおしべがとりかこんでいて、花がひらくすこしまえにおしべは花粉をだしているんだ。だから、花がひらいたときには、もう受粉がおわっているんだよ。

朝おきて、つぼみに色がついていたら、その日の昼か、またはつぎの日には花がさくよ。



ひとつの花に花弁が5まい

ダイズの花は、だいたい、午前中にひらくよ。



エダマメ

しゅうかく
収穫のめやす

エダマメとい
うのは、ダイ
ズの実が育ち
きるまえのまだ
わかい実のこ
とだ。サヤがふくらん
だらそろそろ食べご
ろ。花がさいてか
ら、だいたい1か
月後くらいだ。豆のか
たさはこのみなので、す
きなときにとつて食
べよう。

しゅうかく
収穫のしかた

かぶ
株ぜんたいを

ひきぬいて、

サヤを

もぎとろう。

かぶ かず
株の数がすくなくて、ダイズも収穫した
いときは、食べるぶんだけサヤをもぎとる。

10 はたけ 畑がなくても、ダイズはつくれる

ビルの屋上や庭でも日あたりがよければ、プランターでも袋栽培でもダイズはよく育つ。

それからちょっとたいへんかもしれないけれど、水耕栽培にも挑戦してみよう。

エダマメまでなら、つくれるよ。そしてなによりおもしろいのは、

根につく根粒を観察できることだ。根にできたつぶつぶのなかに、根粒菌がすんでいるんだよ。

1. 土に肥料をまぜて、タネを5~6つぶまき、3~4センチ土をかぶせる。



4. 雑草がでたら、とる。



3. 初生葉がひらいたら、元気のよいものを2~3本のこし、間引く。



2. 芽がでるところから1週間ほどは、ハトに食べられないようにあみでカバーする。

5. 水をかかさないようにやる。

あさぶくろ
麻袋やプランターでつくろう!

準備するもの

プランターまたは袋(麻袋など水がぬけるもの).....土が3キログラム以上入るもの。底にあなをあけたプラスチックバケツでもよい。

土.....3キログラムほど(できれば、ダイズをつくったことのある土)

肥料.....チツソ：リン酸：カリ = 3：10：10の肥料を20グラム、石灰10グラム、野菜用の培養土なら、肥料はいらない。

ハトよけ.....あみ、ザルなど

あなたのおきさにあわせて、^{なえ}苗のまわりに^{だっしめん}脱脂綿をまき、^{こてい}グラグラしないように固定する。

ダンボールや板^{いた}にあなを^{あけ}、^{ようき}容器の上にかぶせる。

^{なえ} 苗の土には^{つち} ^{こんりゅうきん}根粒菌が
いるので、^{なが}あらい流さ
ないで、^{すいこう}そのまま水耕
^{えき}液のなかにいれよう。

5000^{ばい}倍に^{すいこうえき}うすめた
水耕液

すいこうさいばい 水耕栽培

1. ^{こんりゅうきん}根に根粒菌をつけるために、^{そだ}ダイズを育てたことのある^{つち}土に^{なえ}タネをまいて^{そだ}苗を育てる。
2. ^{しょせいよう}初生葉がでたら、3リットルの^{ひろくち}広口ビンに、^{すいこうえき}水耕液をいれ、^{なえ}苗を3~4本^{そだ}育てる。
^{すいこうえき}水耕液は、^{みせ}お店で売っている^{えんげいようえき}園芸用液肥（^{ちっす}チッソ：^{りん}リン：^{かり}カリ=5：10：5など）
を水で5000^{ばい}倍くらいに^{うす}うすめてつくる。
3. ^{ほんば}本葉が4~5枚^{まい}でたら、^{かぶ}いきおいのいいものを2株ほどえらび、10リットルの^ポポリバケツに^{そだ}うつつて育てる。

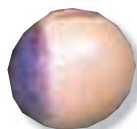
- * ^{すいこうえき}水耕液は、^{しゅう}はじめ週1回^{かえ}ぜんぶとりかえる。
- * ^は葉が5~6枚^{まい}でたら、^か3日に^ど1度、^{はな}花がさくころ、^{まい}まいにちとりかえる。^{きんぎょう}金魚用のエアポンプで^{すいこうえき}水耕液に^{くうき}空気をいれてやると、^ね根は健康^{そだ}に育つ。^ね根も呼吸^{そだ}しているんだ！
- * ^は葉のみどりが^{すいこうえき}うすいようなら、^{すいこうえき}水耕液をす

11 エダマメからさが、ひと苦勞くるう

まずき気をつけなくちゃいけないのは、芽めがでるところタネを食たべるタネバエの幼虫ようちゆうの白しろいウジムシと、子葉しやうを食たべるハトやキジだ。苗なえがすこしおおきくなってしまえばひとあんしんだけれど、エダマメがなるころ、カメムシやハスモンヨトウがマメのなかのおいしい汁しるを吸すってしまったり、葉はを食たべてしまったりする。見みつけたら、手てでとって退治たいじしよう。エダマメまでならなんとか無農薬むのうやくでつくれるけれど、ダイズになるまでにずいぶんカメムシに食たべられてしまうんだよ。

被害粒ひが いりゅう

こんなマメになることもある。いろいろな



むらさき色のまだらがでた粒つぶ



褐かっしょく色いろに色がわりした粒つぶ



虫むしに食たべられた粒つぶ



皮かわが切きれた粒つぶ



しわしわの粒つぶ



よごれた粒つぶ



変質へんしつした粒つぶ



こわれた粒つぶ



育そだちきれなかった粒つぶ



タネバエの幼虫ようちゆう
芽めがでるまえのタネを食たべる。あたらしい土つちをつかって苗なえをつくり、うえかえればだいじょうぶ。



ハト、キジ
子葉しやうを食たべる。タネをちよくせつ
まかずに、苗なえを育そだてて初生葉しよせいようがひ
らいてから、うえかえる。



カメムシ、ハスモンヨトウ
手てでできるだけとりのぞく。

アオクサカメムシ



ハスモンヨトウ



ホソヘリカメムシ

かれた^{くき}茎やサヤは、むかしはかまどのたきつけな
どにつかつたんだよ。



ダイズ

しゅうかく
収穫のめやす

葉がおちて、サヤが^{かつしよく}褐色
になったとき。サヤをふる
と、なかでカラカラ^{あと}音がする。

しゅうかく
収穫のしかた

1. 株^{かぶ}ぜんたいをぬきとり、数株^{すうかぶ}ずつまとめ、雨^{あめ}があたらなところ
根^ねを下^{した}にしてたてかけて、かげぼし
する。雨^{あめ}の多いときは軒先^{のきさき}や屋根^{やね}の
あるところにつりさげよう。
2. 天気^{てんき}がよければ4~5日^{にち}、くもりがちな
ら1~2週間^{しゅうかん}、サヤがしぜん^{しぜん}にたてには
じけるまでおいておく。
3. かんそうしたら、足^{あし}でふむか、ぼうでた
たくか、手でむしるなどして、サヤからダイ
ズ^{びょうがいしゅう}をとりだす。ゴミや病^{びょう}害^{がい}虫^{ちゅう}がまじ